

## G7イタリア・プーリアサミット成果文書における森林・林業関係の記述

- ・2024年6月13～15日に、イタリア・プーリアにおいてG7首脳会合が開催。成果文書としてG7プーリア首脳コミュニケが採択。
- ・森林関係では、「エネルギー・気候・環境」の項目において、農業生産によって森林減少並びに森林及び土地劣化が起こらない持続可能なサプライチェーンを促進し、持続可能な森林経営と木材利用を促進することにコミットする旨記載（仮訳、原文は以下のとおり）。

（仮訳）

この文脈で、我々は2030年までに世界的に森林減少と森林及び土地の劣化を阻止し、反転させることにコミットしている。我々は、需要と供給側の措置の重要性を認識しつつ、持続可能な森林経営と持続可能な木材利用を促進し、農業生産を森林減少や森林及び土地の劣化から切り離す持続可能なサプライチェーンを前進させることにコミットしている。我々は、森林を保全し、保護し、回復させるための革新的な資金的解決策を開発することにコミットしており、その文脈で、COP28における森林、自然及び気候に関するカントリーパッケージの立ち上げを歓迎する。我々はまた、深刻な山火事の悪影響を防止し、管理し、対処するための措置をとる。

（原文）

In this context we are committed to halt and reverse deforestation and forest and land degradation by 2030 globally. We are committed to promoting sustainable forest management and sustainable use of woods and advancing sustainable supply chains that decouple agricultural production from deforestation and forest and land degradation, recognizing the importance of demand and supply-side measures. We are committed to developing innovative financial solutions for conserving, protecting, and restoring forests, and in that context welcome the launch of country packages for forests, nature, and climate at COP28. We will also take steps to prevent, manage, and address the negative impacts of extreme wildfires.

（以上）